

## 報告：原発問題をめぐる全体状況

@第 101 回脱原発八千代ネットワーク定例会

2021 年 7 月 24 日 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 7/12 東京地裁は南相馬の年間 20mSv 以下となった地区の避難解除取り消しを求める 366 名の請求を却下。年間 20mSv という値の高さもさることながら「避難解除取り消しは帰還の強制ではない」との判断は不当（実質、公的支援の打ち切りへ）。
- (2) 福島第一の汚染水は相変わらず約 140m<sup>3</sup>/d の速度で増え続けている。凍土壁の運用も 5 年を過ぎ、耐用年数に近づきつつある。加えて、敷地内の放射性廃棄物を保管するコンテナや容器類（5000 基超）の劣化が進み、環境の悪化を招いている。

### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 7/3 に破損配管の取替え工事を終えた大飯③が再稼働し、稼働原発は美浜③（40 年超）、大飯④、高浜③④、玄海③④、川内①②を併せて 9 基となった。
- (2) 6/23 規制委員会は中国電力島根 2 号機（82 万 KW、BWR）の新規制基準合格案を提示、パブコメ手続きに入った。松江市内にあり 30km 圏の人口は約 46 万人。
- (3) 7/16 報道（東京）：政府は、原発の新増設や建て替えは困難なため、既存原発の法定機関（原則 40 年、最長 60 年）の延長を検討していると。老朽化原発の増加に安全性への懸念が高まる。
- (4) 東電は核セキュリティ上の相次ぐ不祥事（ID カード不正使用、侵入検知器故障放置等）により柏崎刈羽 7 号機の 2021 年度中の稼働を断念。現在、規制委員会により是正措置命令が出されている。

### 3. その他のトピック

- (1) 7/14 広島高裁は原爆投下後、援護対象区域外で「黒い雨」に遭った原告 84 名を被爆者と認定した地裁判決（昨年 7 月）を支持し被爆者手帳の交付を命じた。
- (2) 7/9 報道（朝日）：事故後 35 年を経たチェルノブイリ原発の石棺内で中性子が多く検出されている。核分裂反応がくすぶり続けていることを示す。
- (3) 7/21 経産省はエネルギー基本計画の改定素案を公表。（右図）。脱炭素電源の拡大に原発依存は変わらず。
- (4) 7/15 EU は 2030 年の電源構成に占める再エネの割合を 65%に引き上げる目標を設定。同時にガソリン車の販売禁止と EV インフラの整備を図る。

